

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
母性看護学		BNNSS3L26	30501	2前	2(30)	必修
担当教員	千葉 陽子	実務歴	有	助産師として病院に6年勤務 助産師・看護師(JICA技術協力専門家など)として、海外の助産所や専門機関に従事		
担当教員	林 里沙子	実務歴	有	助産師として病院/診療所に6年勤務		
概要	<p>本科目では、男女の reproductive health・rights(性と生殖に関する健康・権利)についての知識を基盤として、女性のライフサイクル各期の発達課題や身体的・心理的・社会的特徴を理解した上で、女性やその家族を支援するための看護を学習する。</p> <p>前半は女性のライフサイクル各期の発達課題や健康問題について学び、後半は妊娠期・分娩期・産褥期にある女性と家族や新生児の身体的・心理的・社会的特徴および具体的援助方法を学習する。</p>					
学修目標	<p>1) reproductive health・rightsに関連した概念や社会的動向を説明することができる。</p> <p>2) 女性のライフサイクル各期に特徴的な健康問題を説明することができる。</p> <p>3) 女性のライフサイクル各期に応じた看護援助についてその根拠を述べるすることができる。</p> <p>4) マタニティサイクルにある女性の身体的・心理的・社会的特徴やその経時的変化を説明できる。</p> <p>5) マタニティサイクルにある女性に必要な看護援助とその根拠を述べるすることができる。</p>					
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	母性看護学の概要 reproductive health: 概念、性の多様性・倫理			①p.20~27(reproductive health、セクシュアリティ)、p.45~50(倫理)、p.135(ジェンダー、性同一性)、②p.14~26(出生前診断)を講義前に前に読むこと 講義後には講義スライドとノートを復習のこと		
2	reproductive health: 日本・世界の動向					
3	reproductive health: 生殖に関する生理			①p.97~122(生殖器の形態機能)、p.180~184(女性のライフサイクルと健康)、p.185~204(思春期の女性の健康と看護)を講義前に読むこと 講義後にはスライドとノートを復習のこと		
4	女性のライフサイクル各期の看護: 思春期					
5	女性のライフサイクル各期の看護: 成熟期			①p.205~247(成熟期・更年期・老年期の女性の健康と看護)を講義前に読むこと 講義後にはスライドとノートを復習のこと		
6	女性のライフサイクル各期の看護: 更年期・老年期					
7	reproductive health: 法、施策			①p.73~77(主な組織と法律)、p.278~282(人工妊娠中絶)、p.291~307(DV防止法、児童虐待防止法)を講義前に読むこと 中間テストは第1回~第7回までの内容である		
8	前半の総括と中間テスト					
9	マタニティサイクルの看護: 基盤概念、母子保健統計			①p.2~19(母性・母子関係と家族発達)、p.58~69(妊娠の生理・胎児の発育と生理)、p.59~73(統計)を講義前に読むこと 講義後はスライドとノートを復習のこと		
10	妊娠期の看護: 定義、妊娠の成立、正常妊娠の経過					
11	妊娠期の看護: 母体の生理的変化とマイナートラブル			②p.73~77(母体の生理的変化)、p.103~119(妊婦と胎児の経過診断)を講義前に読むこと 講義後はスライドとノートを復習のこと		
12	妊娠期の看護: 妊婦健康診査、妊婦と家族への看護					
13	妊娠期の看護: 妊娠期の健康問題に対する看護			②p.358~400(妊娠の異常と看護)を講義前に読むこと 講義後はスライドとノート、事例を復習のこと		
14	妊娠期の看護: 妊娠期の健康問題に対する看護					
15	分娩期の看護: 定義、正常分娩の経過			②p.178~204(分娩の要素・経過)を講義前に読むこと 講義後はスライドとノートを復習のこと		
16	分娩期の看護: 産婦・胎児の健康のアセスメント					
17	分娩期の看護: 産婦と家族への看護			②p.220~251(分娩期の看護)、p.401~456(分娩の異常と看護)を講義前に読むこと 講義後はスライドとノート、事例を復習のこと		
18	分娩期の看護: 分娩期の健康問題に対する看護					

19	産褥期の看護:定義、正常産褥の経過 褥婦の健康と生活のアセスメント	②p.308～353(産褥経過、褥婦のアセスメントと看護) を講義前に読むこと 講義後はスライドとノートを復習のこと
20	産褥期の看護:褥婦と家族への看護	
21	産褥期の看護:産褥期の健康問題に対する看護	②p.484～500(産褥の異常と看護), p.503～510(周 産期の精神障害)を講義前に読むこと
22	産褥期の看護:腹式帝王切開術後の看護	講義後はスライドとノート、事例を復習のこと
23	早期新生児期の看護:定義と特徴	②p.254～269(定義・新生児の機能)を講義前に読む こと
24	早期新生児期の看護:胎外生活適応と生理的变化	講義後はスライドとノートを復習のこと
25	早期新生児期の看護: 早期新生児の健康と発育のアセスメント	②p.270～306(新生児のアセスメントと看護)を講義前 に読むこと
26	早期新生児期の看護:早期新生児と家族への看護	講義後はスライドとノートを復習のこと
27	早期新生児期の看護:早期新生児の健康問題に対する看護	②p.456～483(新生児の異常と看護)を講義前に読む こと
28	新生児期の成長発達に応じた看護	講義後はスライドとノート、事例を復習のこと
29	周産期医療のシステム	①p.77～82(母子保健施策), p.83～86(母性看護の 場と職種), p.308～315(国際化社会)を講義前に読む こと
30	母子保健法・子育て支援に関する施策、まとめ	講義後にはスライドとノートを復習のこと
使用 テキスト	① 森恵美他. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 1 母性看護学概論, 医学書院. ② 森恵美他. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 2 母性看護学各論, 医学書院. ③ 大平光子他. 看護学テキストNICE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル, 南江堂.	
参考図書	医療情報科学研究所編. 病気がみえるvol.10:産科, 第4版, メディックメディア, 2018.	
成績評価 基準	中間試験30%、定期試験70%	